

学校選択制が意識を変える

東京都品川区立源氏前小学校長

浅木麻人

品川区では全国に先駆けて「学校選択制」を導入しました。当初は、各界から「学校格差が広がる」「地域が破壊する」など轟々たる非難が集中しました。

しかし、学校間格差は選択制を導入しなくても存在しており、誰もそのことを指摘しなかったし問題としなかったというのが現実の姿です。公立学校は平等・公平でなくてはならないという主張の陰で不平等を温存していたのです。

学校選択制は、保護者の声を反映します。ですから、それに対して、きちんと対応策を示したり、学校の考えを伝えたりして理解を得る努力をしなければなりません。いわゆるマニファクチャーとアカウンタビリティが求められるのです。

そのことで、閉鎖的で権威的だといわれた学校の姿勢は随分改善され、反対に正しい自信と自覚が教員に育まれたと感じています。

かかわって思う学校の問題点……

ユース・サポート・センター・友塾塾

井内清満

この件は、家庭の問題ですから家でもよく相談してください。と呼び出した保護者にいう学校。どうしていいのかわからなくて困っているのに的確なアドバイスもない。親や先生に対する暴力や暴言で困惑している中3男子の保護者に対し話した言葉だ。同棲通学している中2の男女の保護者にもあまり騒ぐとキレると困るからしばらく様子を見ましよう。と指導なのか逃げなのか分からない話を平気でする教師がいる。私が相談を受けて僅か2時間母親の虐待を聞き出したのに学校側は2年もたつて発見できなかった事件など。協力体制が整っていない学校は、生徒指導先生の孤軍奮闘だけが自立つ。はじめもそうだが「当校にははじめ問題はありません」と言うから子どもたちは「ここではもう相談できないんだ」と思ってしまう。相談を受ける子どもたちは「黙って聞いてあげるだけで」立ち直りのきっかけを作れるのに。今、一致協力できる体制作りが学校側に求められている。

業務の高付加価値化とそのアピールを

静岡大学

馬居政幸

保護者からの三重の信頼で維持される職であり、信頼は給与・保険・身分保障という実利と直結することへの自覚と研鑽を。これが私の教育公務員像の出発点である。

信頼Ⅱ実利の二重目は職に就くだけで先生と呼ばれる立場と報酬。二重目は公務員としての身分保障。三重目はただの公務員と異なる（優遇？）就業規則と給与体系。

一重目の信頼と実利のみで奮闘するのが予備校、塾、フリースクールの講師。それよりも二段階高く信頼と実利を得るとみなされるのが公立学校の教諭。当然、資質能力と行動基準への要請も二段階高くなる。

実利の財源は税である以上、信頼のゆらぎは保護者を越えて納税者全体の不公平感を誘う。「官から民」への流れとは、信頼の担保価値の低下に応じた実利の適正化。現状維持を求めるなら、塾やフリースクールの先生の三倍の信頼に耐える業務の高付加価値化の明示。これが「新」の条件と考える。

学校マネジメント

2007年12月号 Vol. 46, NO. 611

新・教育公務員像―官から民への流れの中で考える 7

学校選択制が意識を変える（浅木麻人）かかわって思う学校の問題点……（井内清満）業務の高付加価値化とそのアピールを（馬居政幸）時代感覚に敏感で、創造力ある教師を（梶井貢）いかに「共感」を得るか（加藤崇英）今、教育公務員として生きること（川上範夫）崇高な使命を全うできる人間力を（佐伯邦芳）求められる感性と洞察力（浜田幸作）教育公務員は国民から教育を託されている（宮崎正康）

学校バッシングにみる「期待される新・教育公務員像」

組織の一員としての自覚と経営感覚をもった教師がますます求められる（元兼正浩）10 具体的な方針を示して具現してみせる（有田和正）11 天職としての教育者―石川啄木の教育観―（池田 功）12 全人教育に関わる人格者としての教育公務員（岩谷俊行）13

こんな時どうする？―新・教育公務員像を求めて

- Q & A II 校門を出たら私人でよい？ 杉田 莊治
- Q & A II 学力保障の土曜日授業は仕方ない 山田 惣一
- Q & A II 虐待など家庭の問題には踏み込まない 阿部 惣一
- Q & A II 発達の遅れの指摘は越権行為か？ 大森 修
- Q & A II 給食費の徴収は学校の責任？ 矢野 英明
- Q & A II 教師の自宅電話は非公開でいい？ 高階 玲治

教育公務員としての自覚を促すために

- 行政発 教育公務員としての自覚不足の事例 芦川幹弘 26 遠乗 功
- 校長発 教育公務員としての自覚不足の事例 吉田和夫 30 根本正雄
- 教員発 教育公務員としての自覚不足の事例 長野藤夫 34 瀧沢広人 36 32 28

教育公務員として学力テストをどう受け取るか 戸田忠雄 38

事例で早分かりII教育公務員としての資質能力が問われる時

- “学校情報の発信と管理”に関わる事例研究 北神 正行
- “教育行政への上告”に関わる事例研究 円山 博司
- “法令遵守意識”に関わる事例研究 佐藤 晴雄
- “保護者とのかわり”に関わる事例研究 堀井 政幸
- “指導要録・通知表”に関わる事例研究 西山 薫
- “児童・生徒の懲戒”に関わる事例研究 嶋崎 政男 50 48 46 44 42 40

「でっちあげ」―殺人教師事件―から見えてくるもの

「子ども絶対主義」の陥穽（橋本康弘）52 「でっちあげ」が起きる可能性（宮崎俊哉）53

あなたの「教育公務員としての自覚度」チェック

職務に必要な「時間感覚」とは	高山佳己	54	職務に必要な「法令感覚」とは	川神正輝	60
職務に必要な「金銭感覚」とは	横田 健	55	職務に必要な「情報感覚」とは	染谷幸二	59
職務に必要な「管理感覚」とは	渡辺尚人	56	職務に必要な「人権感覚」とは	鈴木智光	58
職務に必要な「報告感覚」とは	資本俊教	57			

管理職のための「教育のレシビと隠し味」

- …子供と親の「世代論」的分析を！ 光岡 洋一
- …教育バウチャー―いやでも？学校が変わる仕掛け 福井 秀夫
- …教員評価はどのように行うべきか 菱村 幸彦
- …教育課程改定と学校経営の改革点 小森 茂
- …理念はよいが手立が不十分だった 藤平 敦
- …学校研修を刺激する処方箋 伊原 正俊
- …「保護者」参画型の創意工夫(4)学習成果を評価する 成山 治彦
- …「割れ窓」理論の生徒指導―ゼロトレランスが学校の秩序を回復する 青木 伸生
- …日本における実践事例(3) 寺脇 研
- …07管理職に必要なクライシスコミュニケーション 76
- …危機を招く「3」の内部原因を認識せよ②放射線曝露事故も危機管理意識の欠落で起こった 74
- …地域の声」と学校はどう向きあうか 72
- …家庭教育は号令だけでは促わらない。具体的な方策こそが必要 70
- …校長講話 3分話の知的ネタ 68
- …季節の言葉から 66
- …寺脇研の「教育再生」私案―諸プランの採点に立つ提案提言― 64
- …私が「ゆとり教育」にこだわるわけ―学歴崩壊の次に来る「現実」とは― 62

連載講座

- 色紙4 親向け教育情報誌ウォッチング 9 明石要一
- 表紙3・4 日本音楽と日本文化 9 田中健次

表紙2・グラビア1

食育のための学校ガーディニング 9 三浦和美

グラビア2・扉

学校に伝統文化の活動を 9 中村 哲